

ブルーリボンキャンペーン(2023年3月)



大腸がん検診はもうお済みですか？
早めの発見・治療で完治を目指しましょう。

イベント内容

3月は「大腸がん啓発月間」です！



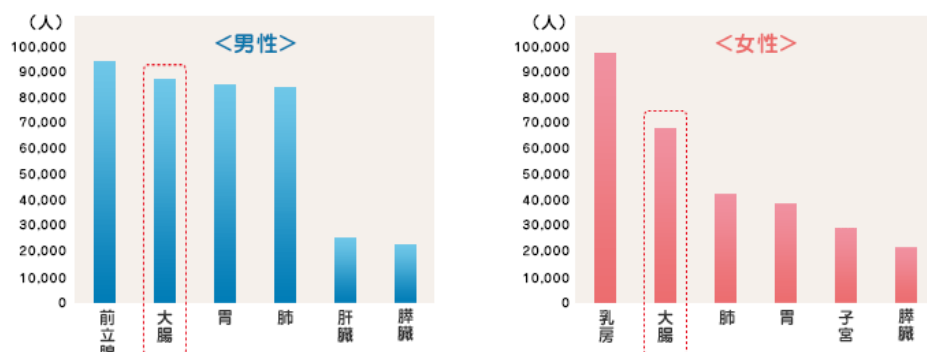
○概要

3月は大腸がんの啓発月間です。

日本で1年間に新たに大腸がんと診断された人数(罹患数:りかんすう)は、2019年では男性は約9万人、女性は約7万人です。

臓器別にみると、大腸がんは男性、女性ともに2番目に多いがんとなります。

臓器別がん罹患数(2019年)



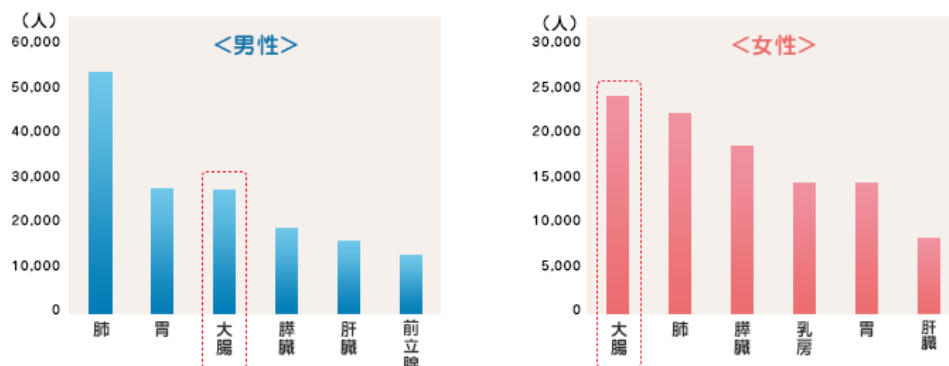
日本人の死因で、もっとも多い病気はがんであり、その中でも大腸がんは、臓器別の死亡者数で上位に入ります。

しかし、大腸がんは、早期の段階で治療を行えば高い確率で、完全に治すこと(治癒)ができます。

大腸がんは早期の段階では、症状を自覚することがほとんどありません。

早期に発見するために、40歳以上の方は定期的に検診を受けることが勧められます。

臓器別がん死亡者数(2020年)



本イベントでは、大腸がんで命を落とす方が一人でも減らせるよう、早期の検診・発見、早期の治療につなげる取組みを推進します。

出典: 国立がん研究センターがん情報サービス『がん統計』(全国がん登録)

大腸がん情報サイト(<https://www.daichougan.info/outline/quantity.html>)

〈裏面につづく〉

- 当センターで大腸がんの治療を担当する医師(大腸肛門外科、消化器内科)の紹介
 - ・担当医師の顔写真を掲載したポスターを、外来2階(内科・外科待合い)に掲示します。

○パンフレット等の配布

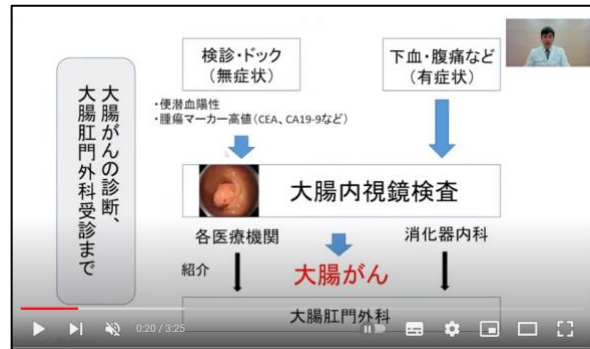
- ・大腸がんのパンフレット等(受診から診断、治療、経過観察への流れを記載)を配布します。

○動画放映

- ・大腸がんに関するPR動画を外来1階イベントコーナーで放映します。

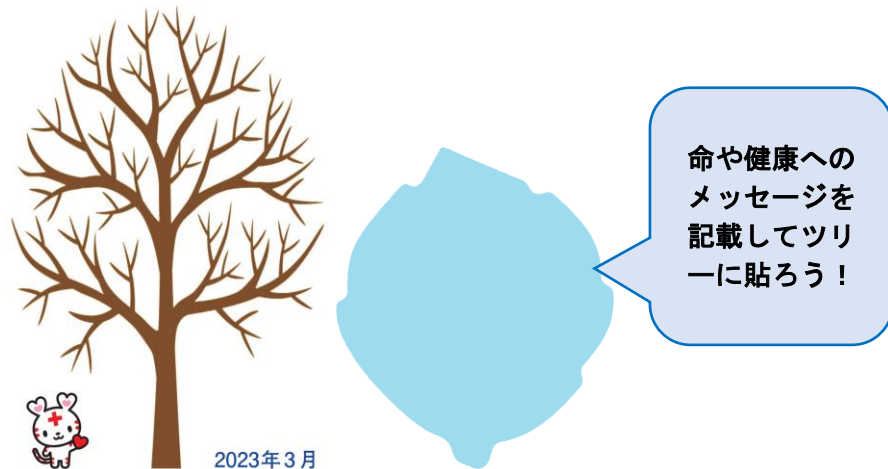
《参考》日本赤十字社医療センターYouTube 公式チャンネル動画

【大腸肛門外科】大腸がん診断されてから手術まで



○命へのメッセージで「ブルーツリー」を作ろう！(来院者参加型の催し)

- ・来院者により、命や健康への思い(大腸がんに関することに限定しない)を青いカードに記載していただき、外来1階イベントコーナーに設置されている大きな木の絵にカードを貼り、「ブルーツリー」を完成させます。



○大腸がんクイズラリー (来院者参加型の催し)

- ・大腸がんに関するクイズへの参加を通じて、大腸がんに関する基本的な知識について、楽しみながら習得することができます。

《参考》

NPO 法人ブレイブサークル
運営委員会
「大腸がんクイズラリー資料
内容」から抜粋



イベントを通じて、大腸がんについて、予防・発見・治療等の知識を深め、意識を高めましょう！